

まるりん通信

第164号 平成26年2月発行
公益財団法人 屋久島環境文化財団



屋久島環境保全募金へのご協力ありがとうございました

環境形成事業

山岳部保全のための
普及啓発活動や、
希少動植物の保護活動
etc...

地域づくり支援事業

里のエコツアー推進や
屋久島研究講座の開催
etc...

環境学習事業

自然・文化体験セミナーや
子どもエコ隊の実施
etc...

平成26年1月末日までの
募金合計は **165,468円** でした。
募金は上記の活動資金の一部に
充てさせていただきます。

～お知らせ～

屋久杉の森の希少性を世界に広めたウィルソン博士と屋久島の関わりについての研究講座を行います。
また、翌日には当時、ウィルソン博士が屋久島を訪れた際の足跡をたどる里めぐりを実施します。

★屋久島世界自然遺産登録20周年記念★

『ウィルソンの里めぐり』

開催日：平成26年2月23日(日)
時間：9:00～11:00ごろ
場所：一湊～志戸子～宮之浦～楠川
参加費：無料
定員：20名(先着順 2月15日より
電話にて受付開始)

★平成25年度第4回研究講座★

『ウィルソン博士と屋久島』

開催日：平成26年2月22日(土)
時間：19:00～20:30
場所：屋久島環境文化村センター(宮之浦)
※申込・お問い合わせは
文化村センター(TEL42-2911)まで

【島内の環境保全募金箱設置協力店】

(敬称略、順不同、平成26年1月末日段階)

- | | |
|-------------------|---------------|
| ショッピングプラザコスモ永田店 | 寺田屋 |
| マリブルー屋久島 | 特産品協会(2ヶ所) |
| つわのや | 丸高水産 |
| 公民館(永田・一湊・宮之浦・安房) | 民宿 たけすぎ |
| 雲水 | 民宿 八重岳本館 |
| Aコープ宮之浦店 | ロッジ 八重岳山荘 |
| 上屋久郵便局 | 屋久島観光センター |
| シーサイドホテル屋久島 | 屋久島高等学校 |
| 田代別館 | 屋久島町役場各支所 |
| 仙人村 | 屋久島電工 |
| ビジネスホテル かしま | 屋久島トラベル |
| ホテル オーベルジュ | 屋久島ふるさと市場 |
| ホテル 鶴屋 | やくすぎ荘 |
| 本坊酒造 | ライフセンターヤクデン |
| 南日本銀行安房支店 | 屋久島森林環境保全センター |
| 屋久島衛生社 | わいわいランド |
| 屋久島ガス | グリーングラス |
| 屋久島警察署 | 旅荘 美山 |
| 県屋久島事務所 | 縄文の宿 まんてん |
| ヤクスギランド売店 | 屋久島観光協会 |
| 屋久島森林管理署 | 屋久島八万寿茶園 |
| ヒュッテフォーマサンヒロ | カレー茶房 ハイビスカス |
| ペンション天然村 | 松田商店 |
| ぼん・たん館 | ペンション アクティブ |
| 屋久島バイン | エコタウンあわほ |
| 民宿 山水 | 屋久島世界遺産センター |
| JRホテル屋久島 | グリーンホテル |
| 屋久島いわさきホテル | 水明荘 |
| 旅荘 屋久島 | 杉匠 |
| はちまん | 武田産業 |
| 屋久島ユースホステル | 田中青果 |
| コミュニティショップわたなべ | 泊書店 |
| | ドライブイン 屋久杉縄文 |

全国離島交流中学生野球大会

屋久島代表選手選考会

第3回まるりんカップ開催!

「国土交通大臣杯全国離島交流中学生野球大会」に参加する屋久島代表選手選考大会です。

島内中学校野球部員たちの熱い戦いが繰り広げられます。皆様の応援よろしくお願いたします!

期 日：2月22日(土) 9:00～

雨天の場合は23日(日)

会 場：安房野球場

※お問い合わせは

文化村センター(TEL42-2911)まで

インストラクター便り：「まだ名前のない虫」

工藤 雄太

昨年の春、屋久島のある場所で写真の昆虫を見つけました。とても小さな昆虫で体長は2.2mm位しかなく、成虫は普段水中で生活していること以外ほとんど何も分かっていません。そして彼らには、まだ名前（「学名」という世界共通の名前）がありません。



生物には、「学名」というラテン語で表記される世界共通の名前があります。それとは別に、私たちが普段使っている、日本の中だけで通用する「和名」もあります。

学名は、**属名**（名字のようなもの）と**種小名**（名前のようなもの）2つの単語で表し、例えば、和名「ライオン」は、学名「*Panthera leo*」、和名「トラ」は、学名「*Panthera tigris*」ですが、この虫には、学名がなく、「ムモンチビコツブゲンゴロウ」という和名だけがあります。

なぜ学名がないのかというと、簡単にいえば「種を確定する作業が難しく大変だから」です。

この虫が新種なのか、はたまた、実はもう学名がついているのか確認するためには、世界中で知られるこの属全ての種（28種）の体内の構造を比べなければいけません。

さらに厳密に言えば模式標本というその種の基準になる標本を確認しないといけません。1800年代の標本もあり困難を極めます。このような理由から学名が未決定のまま和名だけつけられました。これは、この昆虫だけの問題ではなく色々な昆虫で起きています。

ですから、皆さんも大変な作業を頑張れば昆虫の名づけ親になれるかもしれませんよ。



財団活動報告～1月～

★日本赤十字救急法救急員養成講習会★
1月8日～10日（17名が参加）
日本赤十字鹿児島県支部より2名の講師をお招きし、緊急時の対応について基礎から学びました。



★屋久島ガイドセミナー★
1月24日～26日（12名が参加）
全国各地や屋久島でのエコツーリズムの取り組みや、歴史、文化に触れる機会を設け、また実際に山岳部に入り植物の生態を学習する活動を行いました。

休館日

村センター	2/3(月)	10(月)	17(月)	24(月)	3/3(月)	10(月)	17(月)	24(月)
研修センター	2/3(月)	24(月)			3/10(月)	24(月)		

【屋久島を想う】

アテンダント 松元 慶子



屋久島で暮らして3年になります。表情豊かな自然の中で、ゆっくりと私の毎日は過ぎていきます。

屋久島の素晴らしさは、見て、触れて、食べて、体いっぱい楽しむことにあるように感じます。

色鮮やかな山並みや、モッチョム岳の眺め、マイナスイオンたっぷりの川や滝、大自然の中の温泉、そして新鮮なトビウオや首折れさばなどが私は大好きで、この島のすべてが、訪れる人に元気を与えているように思います。

私は現在、この島を紹介する職場で働かせていただいています。

まだまだ知らない屋久島の魅力を学びつつ、私の味わった感動を多くの方に伝えられるように努力していきたいと思っています。